

囲碁で子どもにも夢を

弘前市の 古川六段 後援会(石)に優勝報告

青森市で4日に開かれた「2015青森囲碁フェスティバル」になり、身近な存在として励み王座戦で、5年連続8回目の優勝を果たした古川元六段(弘前市)が6日、小学校時代の恩師であり、後援会長も務める黒石幼稚園長、山内孝行氏(同市美原町)のもとを訪れ、優勝を報告した。山内園長から感謝状を受け取り、和やかに歓談した。

古川六段は「こうして優勝を祝ってもらい、ありがたい。今後は囲碁を通じて青森県に貢献していきたい」と意欲を語った。この後、市役所や教育委員会などを訪問した。

この日は、妻でプロ棋士のこんゆさんとともに、幼稚園を訪ねた。山内園長のほか、黒石囲碁クラブの森勇一さんらも出迎え、優勝を祝った。

山内園長が優勝をたたえるとともに子どもたちにも囲碁の素晴らしさを伝え、夢をつなぐことの大切さを伝えたいとして感謝状を贈り「教え子がこんなに立派



山内園長(後列右端)に優勝を報告した古川六段(前列右)、妻のこんゆさん(同左)